

発達障害の理解と実際の支援を学ぶ

令和5年度発達障害実務者養成講座(児童期)

本講座の目的と内容

本講座は、現在発達障害のある子どもを支援している支援者の方を対象とした、発達障害のある子どもとその保護者への支援について、学ぶ講座です。

現場で目の前にいる子どもへの支援力を高めると共に、同じ子どもを支える他の領域（福祉・教育・家庭）のしくみを学ぶことで、子どもの成長を支える支援チームづくりの一助となることをめざしています。

受講生には、実際に支援しておられるお子さんについて**個別支援計画を作成**いただき、講師の方から講評いただく時間も設けています。

多数のご参集お待ちしております。

※ 研修の全日程に参加され、課題を提出された方には、県の修了証を発行します。

プログラム内容(予定)

※講師のみオンライン参加でご講義されるものがございます。

日程	日時	内容	講義形式	講師
1 日目	9月3日 (日) 10:00 ～16:30	①その子らしさを生かす子育て ～発達障害のある子どもの理解と支援	講師 オンライン参加	iPEC(子どもとおとなの心理学的医学 教育研究所) 所長 吉田友子氏
		②発達障害のある子どもの療育の実践	講師 オンライン参加	宮城学院女子大学 教育学部教育学科 教授 白石雅一氏
		③個別支援計画とは	対面	西神戸高等特別支援学校 教諭 松井恵子氏
2 日目	11月19日 (日) 10:00 ～16:30	①発達障害のある子どもを支える家族 の支援	講師 オンライン参加	立正大学 名誉教授 中田洋二郎氏
		②発達障害のある子どもの支援と制度 ～小学校・中学校・高等学校	対面	兵庫県教育委員会
		③発達障害のある子どもに関わる福祉 サービスと機関連携	対面	社会福祉法人 姫路市社会福祉事業団 相談支援事業所 ぱっそ・あ・ぱっそ 所長/相談支援専門員 濱 亜紀子氏
3 日目	12月24日 (日) 10:00 ～16:30	①WISC-IVを中心とした子どもの アセスメントと具体的支援について	講師 オンライン参加	大六 一志氏
		②保護者の経験談	対面	ペアレントメンター
		③個別支援計画講評	対面	西神戸高等特別支援学校 教諭 松井恵子氏

★研修内において個別支援計画を
ご作成いただく課題がございます。

受講料：¥5,000 (3日分)
募集定員：100名 (先着順)

受講要件

受講申し込みにあたり以下の事項をご確認ください

以下の全てを満たす方

- 1) 3日間すべて参加可能で、実際の事例をもとに個別支援計画の作成が可能な方
- 2) 保幼子ども園、学校、児童発達支援事業所等で発達障害のお子さんを支援された経験が通算3年以上の方
- 3) 現在、現場で実際に発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障害：ADHD、学習障害：LD）のある子どもの支援に関わっている方

※本講座内で実際の子どもの個別支援計画を書いていただき、そのシートを題材としてグループワークを実施します。

- 4) 所属先が兵庫県内にある方

現在、職場で個別支援計画を書く立場にない方でも、本講座内で発達障害のある子どもの個別支援計画を書いていただきます。個別支援計画は講座内のみで使用します。

注意事項

①お申し込みは下記URLもしくはQRコード先の入力フォームよりお申し込みください。

申込URL：http://auc-clover.a.la9.jp/form/clover_training_officials_jidou_2023/index.html

②締め切りは **8月21日（月）13：00** です。

申込用QRコード
↓ ↓ ↓ ↓

③受講いただく方には受講決定通知を8月25日までにメールにてご案内させていただきます。

※入力フォームにはauc.clover@nifty.comからのメールが受信できるメールアドレスをご記載ください。

④受講料は当日受付でお支払いください。おつりのないようご協力をお願いします。

⑤受講料の5000円は3日分の金額となります。ご欠席の場合は返金致しかねますので、

ご了承のほどよろしくお願いいたします。

⑥領収書について、お名前は受講生名、但書は「受講料」になります。宛先や但書のご希望のある方は、入力フォームに記載箇所を設けておりますので、そちらへご記載ください。

⑦全日程に参加され、課題をご提出いただいた方には修了証を発行します。

⑧悪天候による中止の場合は、前日の夕方に判断し、ホームページに記載します。中止の判断は、会場最寄り駅の鉄道が計画運休の場合です。

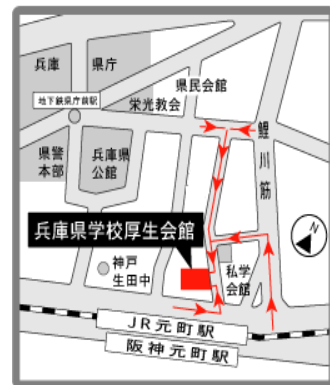


■会場

兵庫県学校厚生会館 3階大会議室

○アクセス

- JR・阪神「元町」駅東口から、北へ約130m
- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅東出口2から、南東へ約370m
- 阪急「神戸三宮」駅西口から、西へ約800m
- 駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください



主催・お問い合わせ：ひょうご発達障害者支援センター クローバー

Tel：079-254-3601 E-mail：auc.clover@nifty.com

URL：<http://auc-clover.a.la9.jp/>

共催：兵庫県

ひょうご発達障害者支援センター
クローバー

講師紹介

吉田 友子 先生

iPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）所長
東京都出身 精神科医師
千代田クリニック院長。iPEC 所長。専門は発達精神医学。

【主な経歴】

1985年、東京慈恵会医科大学卒業。
横浜市総合リハビリテーションセンター児童精神科、横浜市北部地域療育センター診療係長などを経て、よこはま発達クリニックの設立に関与し2000年2月から20年間勤務。
2020年3月、発達精神医学の観点から回復と成長を支援する千代田クリニックを開業。
2005年2月にiPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）を設立し自己理解支援に関する取り組みに従事。立教大学・明治大学・東京女子大学での学生面談や、大学・療育センター等の内部研修・利用者勉強会などを継続受託している。

【主な著書】

* 吉田友子著：高機能自閉症・アスペルガー症候群「その暮らし」を生かす子育て 改訂版（2009年・初版は2003年）中央法規出版
* Lorna Wing 監修・吉田友子著：あなたがあなたであるために—自分らしく生きるためのアスペルガー症候群ガイド（2005年）中央法規出版（Lorna Wing 博士は自閉スペクトラムやアスペルガー症候群の提唱者である）
上記2著書は英訳され英米でも出版されている（ジェシカ・キングズレー社）。
* 吉田友子著：自閉症・アスペルガー症候群「自分のこと」のおしえ方（2011年）学研

大六 一志 先生

公認心理師
日本臨床発達心理士会茨城支部支部長／S.E.N.S.の会茨城支部会会長
日本版WISC-IV刊行委員

【主な経歴】

1993年 東京大学 大学院人文社会系研究科 心理学専攻博士課程
1993-1997 東京大学 大学院総合文化研究科 助手
1997-2000 武蔵野女子大学 文学部人間関係学科 専任講師
2000-2004 武蔵野女子大学 文学部人間関係学科 助教授
2004-2008 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 講師
2008-2012 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 准教授
2012-2016 筑波大学 人間系 教授
2018～現在 放送大学 客員教授

【主な著書】

『日本版wais-III実施・採点マニュアル』 日本版WAIS-III刊行委員会、大六、一志、藤田、和弘、前川、久男、山中、克夫(担当:編者(編著者)) 日本文化科学社 2006年6月
『日本版WAIS-III実施・採点の要点:「単語」「類似」「理解」の採点実例付』藤田 和弘、前川 久男、大六 一志、山中 克夫(担当:共編者(共編著者)), 範囲:日本版WAIS-III実施・採点の要点:「単語」「類似」「理解」の採点実例付)日本文化科学社 2008年12月
『発達障害の臨床心理学』東條 吉邦、大六 一志、丹野 義彦(担当:共編者(共編著者))東京大学出版会 2010年1月
『日本版wisc-IV実施・採点マニュアル』日本版WISC-IV刊行委員会、上野 一彦、藤田 和弘、前川 久男、石隈 利紀、大六 一志、松田 修(担当:共編者(共編著者))日本文化科学社 2010年12月
『日本版WAIS-IIIの解釈事例と臨床研究』藤田 和弘、大六 一志、前川 久男、山中 克夫(担当:共編者(共編著者))日本文化科学社 2011年3月

白石 雅一 先生

宮城学院女子大学 教育学部教育学科 特別支援教育専攻教授
臨床心理士

【主な経歴】

東北福祉大学社会福祉学部福祉心理学科卒業。日本社会事業大学大学院修士課程を修了。自閉症療育の代表施設である社会福祉法人嬉泉の諸施設（子どもの生活研究所めばえ学園や袖ヶ浦ひかりの学園など）において、自閉症児・者を対象にした療育実践と研究活動に従事。東海大学健康科学部、仙台白百合女子大学人間学部を経て、2004年より現職。1997年から『子どもの療育相談室』を主宰。以来、年間200回に上る療育相談のセッションを実施している。2005年11月より、宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」にて専門相談員を兼務。療育実践の他に、学校巡回相談や福祉施設のコンサルテーション、親を対象にしたペアレント・プログラムも行っている。またNPO法人「くもりのち晴れ」の理事として発達障害の人たちの地域生活に関与し、支援員の研修も担っている。

【主な著書】

『自閉症とこだわり行動』（共著）東京書籍 1993年
『障害者の心理と支援』（共著）福村出版 2001年
『「気がかりな子」の理解と援助』（共著）金子書房 2005年
『自閉症スペクトラム 親子いっしょの子どもの療育相談室』東京書籍 2010年
『こだわり行動攻略BOOK 子ども用ワークブック』アスペ・エルデの会 2010年
『特別支援教育 実践のコツ』（共著）金子書房 2011年
『自閉症スペクトラムとこだわり行動への対処法』東京書籍 2013年
『発達障害の子の育て相談④こだわり行動 理解と対処と生かし方』2018年 本の種出版他

【インターネット】

金子書房【Note】
『コロナ禍における自閉スペクトラム症のこだわり行動への対処法』
<https://www.note.kanekoshobo.co.jp/n/n2331f48479ec>

中田 洋二郎 先生

立正大学名誉教授

プロフィール：臨床心理士。専門は発達臨床心理学、発達障害の家族支援。
学歴：早稲田大学文学研究科修了（文学修士）
職歴：都立知的障害児通園施設心理判定員、国立精神・神経センター精神保健研究所思春期精神保健研究室長、福島大学大学院教育学研究科教授、立正大学心理学部教授、立正大学名誉教授（現在）

社会活動：日本小児精神神経学会名誉会員、日本児童青年期精神医学会会員、日本ペアレント・トレーニング研究会会長

主な著書：

子どもが発達障害といわれたら：幼児期から大人になるまでのQ&A70
中田 洋二郎（監修）、猿渡 知子他（著）中央法規出版 2019

「発達障害のある子と家族の支援：問題解決のために支援者と家族が知っておきたいこと」 中田洋二郎 学研プラス 2018

「軽度発達障害の理解と対応 一 家族との連携のために」 中田洋二郎（著）大月書店 2006

「AD/HDのペアレント・トレーニングガイドブック 一 家庭と医療機関・学校をつなぐ架け橋」 岩坂 英巳、中田 洋二郎、井潤知美（著）じほう 2004

「子どもの障害をどう受容するか 一 家族支援と援助者の役割」 中田 洋二郎（著）大月書店 2002

「読んで学べるADHDのペアレントトレーニング 一 むずかしい子にやさしい子育て」 シンシア ウィットム（著）中田 洋二郎（監修）明石書店 2002

「発達障害のペアレント・トレーニング簡易版：プログラムの進め方と運営のコツ」 中田洋二郎（著）中央法規出版 2023

講師紹介

松井 恵子 先生

県立西神戸高等特別支援学校
支援研修部長 特別支援教育コーディネーター

【経歴】

兵庫県公立中学校及び県立特別支援学校勤務
現在；県立西神戸高等特別支援学校勤務 支援研修部長・研究
主任・特別支援教育コーディネーター 兵庫県立特別支援教
育センターひょうご専門家チーム派遣相談員

兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 障害児教育専攻修了 井上雅
彦研究室所属（現 鳥取大学）

国立特別支援教育総合研究所 長期研修派遣 武富博文研究員師
事（現 神戸親和女子大学）

公認心理師、学校心理士、特別支援教育士

専門；応用行動分析学、発達障害、コミュニケーション、教育課
程、キャリア教育

濱 亜紀子 先生

社会福祉法人 姫路市社会福祉事業団
相談支援事業所 ぱっそ・あ・ぱっそ 所長／相談支援専門員

【略歴】

神戸大学大学院 総合人間科学研究科卒業
平成14年4月～ 社会福祉法人 姫路市社会福祉事業団入職
姫路市総合福祉通園センター ルネス花北にて、ケースワーカー
として相談支援業務に従事する。（旧）障害児者地域療育等支
援事業コーディネーター、兵庫県障害者等相談支援コーデ
ィネート事業・中播磨圏域コーディネーターなどを経て、指定相
談支援事業所「ぱっそ・あ・ぱっそ」の相談支援専門員。
平成28年より現職、令和2年10月から姫路市基幹相談支援セン
ターを兼務。

その他
姫路市地域自立支援協議会委員
一般社団法人 兵庫県相談支援ネットワーク理事

資格
臨床心理士、公認心理師、社会福祉士、主任相談支援専門員



本講座についてご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。

【お問合せ】ひょうご発達障害者支援センター クローバー

電話：079-254-3601 FAX：079-254-3403 e-mail：auc.clover@nifty.com

URL：<http://auc-clover.a.la9.jp/>